

(様式)

2 年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	社会福祉法人高島市社会福祉協議会		
介護事業所名	グループホームはあとふる朽木		
介護保険事業所番号	25922000154	サービス種別	認知症対応型共同生活介護及び介護予防認知症対応型共同生活介護
所在地	滋賀県高島市朽木市場593番地1		
利用定員	9人	介護ロボットの種別	見守り
介護ロボットの製品名	パラマウントベッド社製 見守り支援システム 眠りSCAN NM-1520		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	有・無		
導入時期	令和2年12月	導入台(セット)数	1
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】 ※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。 自施設の中で要介護度が高く高齢の利用者で、夜間に何度も人を呼ぶ、不潔行為がある方の対応について、夜間の睡眠リズムや、不潔行為のタイミングをつかみ、ケアを行う時期を検討するために継続的に使用している。 睡眠のリズムや、比較的覚醒している時間帯などが可視化されるので、介助に入るタイミングがよくなるようになった。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】 ※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。 眠りスキャンを導入することで職員の90%が夜間の見守りへの活用に対し、負担軽減を感じている。 また、就寝、覚醒の時期がわかることで、夜間の排泄介助の時間の目安にもなり、職員も利用者本人も寝ているときに、起きてもらって排泄介助をすることが少なくなり、お互いのストレス軽減に役立っている。 この事により、令和3年3月時点で精神的な負担が軽減したと感じている職員が、全体の50%となっている。 看取り期における活用は、現時点ではないものの、自施設において比較的介護度の高い利用者中使用している中で、心拍数や、呼吸数の確認もでき、看取りや体調変化の管理が必要な利用者に対し活用ができている職員が75%となっている。 また、睡眠リズムが数値化、グラフ化されるので、新規入所時の夜間を中心とする睡眠状況の把握にも活用できている職員もいる。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】 ※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。 パソコン操作に慣れていない職員も含まれるため、誰もが使用できることが必要。また、利用者が誤って閉じてしまい、ログインができなくなったことがあった。 導入当初、通信環境の問題からか、データがパソコンに送信されないことがあったが業者に連絡をして対応策を確認した。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	社会福祉法人 大津市社会福祉事業団		
介護事業所名	特別養護老人ホーム 榛原の里		
介護保険事業所番号	2570100061	サービス種別	介護福祉施設サービス
所在地	大津市真野普門三丁目1120		
利用定員	130人	介護ロボットの種別	見守り
介護ロボットの製品名	眠りスキャン		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	有 無		
導入時期	令和3年3月	導入台(セット)数	40
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。 眠りスキャン40台を導入し、運用している。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。 眠りSCANシステムの導入により、入居者就寝時の睡眠状況が把握でき、離床している場合には注視するなど、効率的な見守りができている。また、睡眠の状況を常に記録でき、睡眠不足なのかどうかの判断の根拠が明確になった。これらのことが介護職員の負担軽減につながり、更にデータを蓄積することで、入居者各人の健康管理にも役立てられると考える。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。 現状、導入した眠りスキャンに対して不都合を感じていることは無い。入所定員130名に対して、現在40台の導入に留まっており、更なる導入の必要性を感じている。			

※「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	社会福祉法人 湖東会		
介護事業所名	特別養護老人ホーム いぬかみ		
介護保険事業所番号	2571800024	サービス種別	介護老人福祉施設
所在地	滋賀県犬上郡多賀町中川原605番地2		
利用定員	80人	介護ロボットの種別	見守り
介護ロボットの製品名	眠りSCAN		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	有 無		
導入時期	令和3年 2月	導入台(セット)数	30
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。			
①夜間の睡眠及び生活リズムの把握が必要な方 ②ベッドから転落する恐れのあるハイリスクな方 ③看取り期の方 ④体調に大きな変化が見られた方			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。			
①夜間の排泄に関して、起き上がりと共に訪室を行い、トイレ介助に繋がるように利用者の行動に合わせたケアが行えるようになった。 ②導入後、1ヶ月半ではあるが、ベッドより転落した事故は0件である。利用者の行動に合わせて先回り職員が動く事で、精神的な負担が軽減することができた。 ③看取りの方2名に使用をした。死亡日までの体調の変化に早く気が付くことができた。また、死亡時刻も離床アラートにより、離れた場所からでも死亡に気が付いたために、すぐに駆けつけることができた。 ④体調に大きく変化している利用者に設置することで、体調の変化を数値で把握できることとなり視覚的に職員同士情報共有がしやすくなった。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。			
ベッドからの転落予防として活用する場合、離床されたタイミングと画面通知のタイミングにタイムラグがあるため、特に行動の早い方はベッドからすでに離床されている場合があり注意が必要である。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

令和 2 年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	社会福祉法人 ほのぼの会		
介護事業所名	特別養護老人ホーム ふれあい		
介護保険事業所番号	2570400263	サービス種別	介護老人福祉施設
所在地	近江八幡市上田町1315-1		
利用定員	50人	介護ロボットの種別	見守り
介護ロボットの製品名	眠りSCAN		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無		
導入時期	令和3年3月	導入台(セット)数	50台
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。			
・対象部署への導入前アンケートを実施した。(別添、参照) 眠りスキャンの導入により、どのような気づきや業務効率向上に繋がるか、3年スパンで追っていく。			
・全床に設置し、ワークステーションのパソコンやスマホと連動させている。			
・実際の動きとシステムとの連動に、どの程度のタイムラグがあるか等の確認を行ったり、運用するにあたって、施設独自の取扱い説明書やマニュアル等の作成を進めている。			
・介護現場では、眠りSCANがどのようなものか、目で見て確認しながら慣れる、という段階である。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。			
・WiFi機器の導入による効果はこれからである。			
・同時に更新したナースコール・スマホと、眠りスキャンの連動により、コール音が一括され分かりやすい。このことから、業務の効率化が図られることを期待する。			
・夜勤帯について、眠りスキャンの画像を見て睡眠や覚醒を推測でき、「心のゆとりを持てるようになった」という意見を聞いている。業務効率について、夜間帯は効果が出てきていると思われる。			
・画像と実際の動きについては、画像では睡眠中となっているが、実際は目を開けている、ということが時々ある、との報告がある。体動によりセンサーが反応するため、開眼していても体動がなければ「睡眠」と判断することを共有していかなければいけない。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。			
・眠りSCANは常に電源を確保しないとイケないため、万が一の停電時や災害時の安全確保のために、どのような仕組みで電源を確保していくのか、考えていく必要がある。			
・パソコンのモニターで眠りスキャンを見ることが望ましいが、介護ソフト(ほのぼのネクスト)入力が優先となっている。スマホでは画面が細くなり見えづらい。眠りスキャン用のモニターを検討していく必要がある。			
・眠りスキャンについては、一度、AM3時頃～8時頃まで通信ができなくなった。早急に担当者に調査を依頼し対応してもらった。			
・スマホの通信障害が時々ある(呼び出しても繋がらない)。担当業者と情報共有し改善に取り組んでいる。			
・スマホの持ち運びについて、ウエストポーチ(透明型)を使用しているが、ポーチに入れた状態で画面操作ができる仕様との事だが、画面操作をすると画面が暗くなるという症状がでる。現在担当者で改善策を検討中である。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

令和 2 年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	社会福祉法人 ほのぼの会		
介護事業所名	ショートステイ ふれあい		
介護保険事業所番号	2570400818	サービス種別	短期入所生活介護
所在地	近江八幡市上田町1315-1		
利用定員	19人	介護ロボットの種別	見守り
介護ロボットの製品名	眠りSCAN		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無		
導入時期	令和3年3月	導入台(セット)数	19台
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。			
・対象部署への導入前アンケートを実施した。(別添、参照) 眠りスキャンの導入により、どのような気づきや業務効率向上に繋がるか、3年スパンで追っていく。			
・全床に設置し、ワークステーションのパソコンやスマホと連動させている。			
・実際の動きとシステムとの連動に、どの程度のタイムラグがあるか等の確認を行ったり、運用するにあたって、施設独自の取扱い説明書やマニュアル等の作成を進めている。			
・介護現場では、眠りSCANがどのようなものか、目で見て確認しながら慣れる、という段階である。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。			
・WiFi機器の導入による効果はこれからである。			
・同時に更新したナースコール・スマホと、眠りスキャンの連動により、コール音が一括され分かりやすい。このことから、業務の効率化が図られることを期待する。			
・夜勤帯について、眠りスキャンの画像を見て睡眠や覚醒を推測でき、「心のゆとりを持てるようになった」という意見を聞いている。業務効率について、夜間帯は効果が出てきていると思われる。			
・画像と実際の動きについては、画像では睡眠中となっているが、実際は目を開けている、ということが時々ある、との報告がある。体動によりセンサーが反応するため、開眼していても体動がなければ「睡眠」と判断することを共有していかなければいけない。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。			
・眠りSCANは常に電源を確保しないといけないため、万が一の停電時や災害時の安全確保のために、どのような仕組みで電源を確保していくのか、考えていく必要がある。			
・パソコンのモニターで眠りスキャンを見ることが望ましいが、介護ソフト(ほのぼのネクスト)入力が優先となっている。スマホでは画面が細くなり見えづらい。眠りスキャン用のモニターを検討していく必要がある。			
・眠りスキャンについては、一度、AM3時頃～8時頃まで通信ができなくなった。早急に担当者に調査を依頼し対応してもらった。			
・スマホの通信障害が時々ある(呼び出しても繋がらない)。担当業者と情報共有し改善に取り組んでいる。			
・スマホの持ち運びについて、ウエストポーチ(透明型)を使用しているが、ポーチに入れた状態で画面操作ができる仕様との事だが、画面操作をすると画面が暗くなるという症状がある。現在担当者で改善策を検討中である。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	社会福祉法人 一善会		
介護事業所名	短期入所生活介護 赤煉瓦の郷		
介護保険事業所番号	2570400016	サービス種別	短期入所生活介護
所在地	滋賀県近江八幡市船木町59番地3		
利用定員	16人	介護ロボットの種別	見守り
介護ロボットの製品名	パラマウント 眠りSCAN NN-1520		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	有・無		
導入時期	令和2年12月	導入台(セット)数	2
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。 主な使用目的としては、新規ご利用者のアセスメントやベッドからの転倒リスクの高い方、体調不良の方などへの見守りとしている。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。 事業計画時の目標・効果から見ると、導入から3月末までに、ベッドからの転倒事故や夜勤負担による離職は0である。 特に夜間の転倒リスクに対しては、以前の床式センサーマットではベッドから降りられた瞬間の発報なので対応が遅れがちになっていたが、眠りSCANではご利用者が睡眠状態から覚醒または上体を起こされた時点で発報となり、ベッドから降りられる前に訪室できるので、リスクにいち早く対応できた。 新規ご利用者では、初回の睡眠状態の把握が容易になった。事前情報に加えて施設での実際の睡眠時のデータを合わせて考えることにより、次回以降のご利用時の夜間の適切な対応について、十分な検討を行えるようになった。 また心拍数・呼吸数も常時計測できるため、ご利用中に体調不良になられて臥床されている方へは、数値異変時の発報により、速やかに対応できた。特に末期のご利用者が利用された時はいつ急変が起こるかという状況だったため、眠りSCANにより心拍数・呼吸数がパソコン画面で常時確認できる事で、職員の緊張感の緩和につながった。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。 眠りSCANの本体設置、パソコン設定方法について、できる限りの現場職員に指導した方が有効であるとわかった。 当初は、初めて使用する高価な機器だという事で、取り扱いを慎重にするために主要な担当職員に管理を任せていたが、それでは毎日のご利用者への入れ替わりによる都度の機器の設置・設定変更にも、その職員不在では対応が遅れる事もあった。また、現在の動作状態が正常なのかどうかの判断も、本体の正しい設置位置・パソコン表示画面の見方などを正確に理解していないと、正しく活用できているのか曖昧なままで使用されている例もみられた。 以上のことから、できる限りの現場職員が使用方法を理解していれば、今よりも更に適切にこの見守り機器を活用できると考えられる。			

※「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	社会福祉法人 一善会		
介護事業所名	特別養護老人ホーム 赤煉瓦の郷		
介護保険事業所番号	2570400016	サービス種別	介護老人福祉施設
所在地	滋賀県近江八幡市船木町59番地3		
利用定員	54人	介護ロボットの種別	見守り
介護ロボットの製品名	パラマウント 眠りSCAN NN-1520		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	○有・無		
導入時期	令和2年12月	導入台(セット)数	8
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。			
導入台数8台のうち、6台はほぼ固定のご利用者で、睡眠状態を長期的に観察、または健康面で要観察な為に使用している。後の2台は、新規入所のご利用者の睡眠状態の把握や看取り対応など、短期・突発的な要件に流動的な使用をしている。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。			
事業計画時の目標・効果から見ると、導入から3月末までに、ベッドからの転倒事故や夜勤負担による離職は0である。			
その他に具体的な効果としては、あるご利用者において今まではベッドに入られた瞬間から長く覚醒状態であった事が分かり、寝付かれるのが遅いならば起床時間を遅らせた方が睡眠時間を長くとれるというデータを、眠りSCANのグラフを使って夜勤職員に上手く説明することができた。それにより、夜勤職員がそのご利用者の起床の流れを再構築することができ、睡眠状態改善につなげる事ができた。			
また他の事例として、覚醒状態を示すアラームの頻度により、そのご利用者の起き上がりの前兆を見定めることで、その方の見守りを一時的に強化したり、また強化する必要があるご利用者を絞れた。それにより、重点的な巡視ができることや、ご利用者の動きの把握のしやすさから、夜勤職員の身体的・精神的負担の緩和に繋がっている。			
また、心拍数・呼吸数の測定が大まかに可能なため、看取り対応のご利用者においてなど、突然の体調変化に素早く気付く手段の一つとして、効果を発揮している。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。			
上記の見守り効果やそれにより得られた情報などは、主要な職員や関連する委員会により適宜に分析・対応を行っているが、多人数によるカンファレンスや専用の委員会の設置などまでは、現在のところ進めていない。そのため、今後どのようにそれらの概要を作っていくかが課題である。			
また眠りSCANの本体設置、パソコン設定方法を理解している職員が今のところ限定的であり、都度の効果的な仕様の変更にはその職員が不在だと時間を要したりすることもある。そのため、間違った使用方法のまま適切な効果が出ない事などにより、眠りSCANに対する他の職員の信頼が下がる懸念がある。信頼が下がると新たな機器の導入に不満が出てくるので、眠りSCANに対する勉強会などを開催し、理解を促していくことが必要である。			
そしてこれらの課題を一つ一つ解決していき、ゆくゆくは全ご利用者に見守り機器を導入して、テクノロジーの導入による夜勤配置基準の軽減を目指していきたい。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	医療法人 医誠会		
介護事業所名	介護老人保健施設エスパラル近江八幡		
介護保険事業所番号	2550480020	サービス種別	介護老人保健施設・短期入所療養介護通所リハビリテーション
所在地	近江八幡市大房町1002番地1		
利用定員	入所 150人 通所 45人	介護ロボットの種別	見守り・コミュニケーション
介護ロボットの製品名	サイドコール・ケーブルタイプ、ベットコール・ケーブルタイプ、コールマット徘徊コールⅢ、転倒むし		
見守り機器の導入に伴う通信環境設備の有無	○有・無		
導入時期	2年12月	導入台(セット)数	1式
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。			
各フロア(2F 3F 4F)に見守り機器 サイドコール15台 ベッドコール18台 コールマット14台 座面センサー14台 設置済 インカム導入台数 2.3.4階フロア 各12台 デイケア 9台 看護師・ケアスタッフ出勤時、インカムを所持して業務に入る			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。			
①業務の効率化(時間の削減) ・ケアスタッフ、看護職員が1人1台インカムを所持することで、いつでもどこでも情報を共有することが出来るため、職員間で集まる必要も減少し、作業の手を止めることなく情報を共有することが出来た。 ・ナースコール対応時、職員が同じ動きをすることがなくなった。 見守り 支援に投入する時間 導入後 1人1日 15分～45分 増えた			
②転倒・転落の減少 ・職員が同じ動きをすることがなくなり、ナースコール応答速度が早くなった。利用者のそばを離れることなく他者の協力要請が出来るようになった。 転倒・転落数 導入前 1ヶ月平均20件 導入後 1ヶ月平均15件 25%減少した。			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。			
①各自が一方向的に発話することがあるため、通話渋滞が生じたことがあった。発話に対しての返答を誰がするのか明瞭でなく、聞こえているのかいないのかが不明瞭な場面があった。通話のルールを定める必要がある。			
②入職間もない職員がうまく使いこなせないことが多かった。インカム使用に関してマニュアルを作成する。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	株式会社アイズケア		
介護事業所名	あったかハウス京町グループホーム		
介護保険事業所番号	2570200507	サービス種別	認知症対応型共同生活介護
所在地	滋賀県彦根市京町1丁目4-7		
利用定員	9人	介護ロボットの種別	見守り機器
介護ロボットの製品名	眠りスキャン		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無		
導入時期	令和3年3月	導入台(セット)数	5
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。 既存の赤外線センサー使用している利用者に対して、眠りスキャンの設置基準について検討中。 新型コロナウイルスが発生した場合においても眠りスキャンを導入することにより訪室回数を減らし職員の負担軽減に努めるべくシミュレーションを実施している。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。 新型コロナウイルス発生時のシミュレーションを行うことにより、どのようなケアを行ったら良いか事前に把握することにより職員の不安を軽減することができている。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。 導入してから期間がほとんどたっていないので、具体的な効果はまだ出ていないが、職員の負担軽減と生産性の向上に資するよう効果を数値化することができるようしていきたい。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	社会福祉法人まんでん		
介護事業所名	特別養護老人ホームまんでん塩津		
介護保険事業所番号	2590300188	サービス種別	地域密着型老人福祉施設入居者生活介護
所在地	滋賀県長浜市西浅井町塩津中1123番地		
利用定員	29人	介護ロボットの種別	見守り
介護ロボットの製品名	眠りスキャン		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	○有・無		
導入時期	令和3年3月	導入台(セット)数	29台
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。			
・入居者全員のベッドマットレスの下に敷いて、以下の目的で使用した。 ①夜間の睡眠状態や排泄ケアのタイミングを知り、良質な睡眠が得られるようにすることで日中の活動性を高め、生活のリズムを整える。 ②転倒や転落リスクの高い利用者にはアラームを設定し、安全の確保に努める。 ③看取り期のバイタルサインの把握、異常の早期発見と適切な対応に努める。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。			
・入居者29名中1名は電源コードを引き抜くなどの行為がみられ使用せず、28名について使用している。 ①について;尿意や尿量による排泄リズムに加え、特に夜間はノンレム睡眠のタイミングに合わせて排泄介助を行った。おむつ交換の方は明らかな効果はまだ見られないが、夜間のトイレやポータブルトイレへの誘導はスムーズになった。また、起床の声かけのタイミングがわかり覚醒が良くなった。 ②について;現在10名にアラームを設定している。起居動作で反応し訪室時には臥床されているケースや、訪室時にはすでに離床されていてヒヤットする場面もあるが、転倒・転落事故は予防できている。 ③について;3月以降、看取り介護の対象者は無いが、呼吸や脈拍の変化から異常の早期発見につながったケースがあった。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。			
・離床センサーとして使用する場合は、PC画面と離床とのタイムラグが生じるので間に合わない可能性があることを知って対応する必要がある。特に、転倒リスクが高い利用者には要注意である。 ・使用時の個人設定やデータ分析には知識が必要であり、PC操作が苦手な職員への研修や管理マニュアルを作成するなど周知のための対策が必要である。 ・重度の認知症で、電源コードを引き抜いたりマットレスを激しくいじったりする利用者には使用できない。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	社会福祉法人まんでん		
介護事業所名	グループホームまんでん塩津		
介護保険事業所番号	2590300089	サービス種別	認知症対応型共同生活介護
所在地	滋賀県長浜市西浅井町塩津中270番地		
利用定員	18人	介護ロボットの種別	見守り
介護ロボットの製品名	眠りスキャン		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	○有・無		
導入時期	令和3年3月	導入台(セット)数	18台
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。			
・入居者全員のベッドマットレスの下に敷いて、以下の目的で使用した。 ①夜間の睡眠状態や排泄ケアのタイミングを知り、良質な睡眠が得られるようにすることで日中の活動性を高め、生活のリズムを整える。 ②転倒や転落リスクの高い利用者にはアラームを設定し、安全の確保に努める。 ③看取り期のバイタルサインの把握、異常の早期発見と適切な対応に努める。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。			
①夜間の巡回時、眠りが浅い方や自身で施錠される方(18名中5名)は戸を開ける音や開錠の音で覚醒していたが、起こすことなく睡眠がとれている。レム睡眠が確認できるため夜間の排泄ケアのタイミングがわかり、特に誘導の方(2名)は覚醒に時間がかかりなかなか立ち上がれなかったが、レム睡眠時に声を掛ける事により歩行状態が良くなった。巡回時には入眠中のため良質な睡眠が取れていると思っていた方がデータ上ではほぼレム睡眠であることがわかり、日中の活動内容を検討することができる。 ②18名中4名が起き上がり時のアラームを使用している。アラーム音を変える事ですぐに確認ができ早期に対応できる。 ③現在看取り期の方はないが、体調不良時や持病を持っておられる方の睡眠時のデータがわかることにより、職員の精神的負担が軽減できている。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。			
・離床センサーとして使用する場合は、PC画面と離床とのタイムラグが生じるので間に合わない可能性があることを知って対応する必要がある。特に、転倒リスクが高い利用者には要注意である。 ・使用時の個人設定やデータ分析には知識が必要であり、PC操作が苦手な職員への研修や管理マニュアルを作成するなど周知のための対策が必要である。 ・重度の認知症で、電源コードを引き抜いたりマットレスを激しくいじったりする利用者には使用できない。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	社会福祉法人まんでん		
介護事業所名	グループホームまんでん小谷		
介護保険事業所番号	2590300105	サービス種別	認知症対応型共同生活介護
所在地	滋賀県長浜市小谷郡上町562番地		
利用定員	9人	介護ロボットの種別	見守り
介護ロボットの製品名	眠りスキャン		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	○有・無		
導入時期	令和3年3月	導入台(セット)数	9台
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。			
・入居者全員のベッドマットレスの下に敷いて、以下の目的で使用した。 ①夜間の睡眠状態や排泄ケアのタイミングを知り、良質な睡眠が得られるようにすることで日中の活動性を高め、生活のリズムを整える。 ②転倒や転落リスクの高い利用者にはアラームを設定し、安全の確保に努める。 ③看取り期のバイタルサインの把握、異常の早期発見と適切な対応に努める。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。			
①9名中4名の利用者様は、夜間決まった時間に排泄の声かけをおこなっていたが、眠りスキャンでREM睡眠時に声かけするようになり、トイレへの案内やパット交換での拒否が減っている。 今まで夜間眠っておられるのに日中も傾眠傾向の利用者様は、夜間に熟睡されている時間が少ないことが分かり、協力医療機関との連携のもと眠剤の使用や日中の活動性を高める対応を行って、生活リズムの改善に努めている。 ②1名の利用者様にアラーム機能を使用し、転倒・転落の危険を事前に察知し防止できている。 ③看取り期の利用者様にアラーム機能を活用し、異常の早期発見と早期対応に努めた。 協力医療機関やご家族との連絡がタイムリーで適切に対応することが出来、ご家族の満足を得た。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。			
・離床センサーとして使用する場合は、PC画面と離床とのタイムラグが生じるので間に合わない可能性があることを知って対応する必要がある。特に、転倒リスクが高い利用者には要注意である。 ・使用時の個人設定やデータ分析には知識が必要であり、PC操作が苦手な職員への研修や管理マニュアルを作成するなど周知のための対策が必要である。 ・重度の認知症で、電源コードを引き抜いたりマットレスを激しくいじったりする利用者には使用できない。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	社会福祉法人まんでん		
介護事業所名	まごころホームまんでん小谷		
介護保険事業所番号	2590300105	サービス種別	小規模多機能型居宅介護
所在地	滋賀県長浜市小谷郡上町562番地		
利用定員	9人	介護ロボットの種別	見守り
介護ロボットの製品名	眠りスキャン		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	○有・無		
導入時期	令和3年3月	導入台(セット)数	9台
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。			
・宿泊室のベッドマットレスの下に敷いて、以下の目的で使用した。 ①夜間の睡眠状態や排泄ケアのタイミングを知り、良質な睡眠が得られるようにすることで日中の活動性を高め、生活のリズムを整える。また、自宅に戻られた後も落ち着いて休んでいただける環境を整える。 ②転倒や転落リスクの高い利用者にはアラームを設定し、安全の確保に努める。 ③看取り期のバイタルサインの把握、異常の早期発見と適切な対応に努める。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。			
①睡眠状態の把握ができ、夜間不眠の利用者へ日中の活動(レクリエーション)への参加を促し、睡眠につなげることができた。また、排泄の誘導や起床時の声掛けのタイミングが判断できたことによりスムーズな誘導が行えた。 ②起き上がり時のアラームを使用することで、転倒リスクの高い利用者への対応ができ、見守りしやすくなった。 ③看取りの方はおられません。体調不良や持病をもっておられる方の睡眠時のデータがわかることで、職員の精神的な負担の軽減になっている。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。			
・離床センサーとして使用する場合は、PC画面と離床とのタイムラグが生じるので間に合わない可能性があることを知って対応する必要がある。特に、転倒リスクが高い利用者には要注意である。 ・使用時の個人設定やデータ分析には知識が必要であり、PC操作が苦手な職員への研修や管理マニュアルを作成するなど周知のための対策が必要である。 ・重度の認知症で、電源コードを引き抜いたりマットレスを激しくいじったりする利用者には使用できない。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	社会福祉法人まんでん		
介護事業所名	グループホームまんでん高月		
介護保険事業所番号	2590300303	サービス種別	認知症対応型共同生活介護
所在地	滋賀県長浜市高月町高月641-2		
利用定員	18人	介護ロボットの種別	見守り
介護ロボットの製品名	眠りスキャン		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	○有・無		
導入時期	令和3年3月	導入台(セット)数	18台
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。			
・入居者全員のベッドマットレスの下に敷いて、以下の目的で使用した。 ①夜間の睡眠状態や排泄ケアのタイミングを知り、良質な睡眠が得られるようにすることで日中の活動性を高め、生活のリズムを整える。 ②転倒や転落リスクの高い利用者にはアラームを設定し、安全の確保に努める。 ③看取り期のバイタルサインの把握、異常の早期発見と適切な対応に努める。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。			
18名すべての利用者に使用している。 ①について、夜間自室内は施錠して休まれるケースもあるため、巡視時に開錠することが睡眠の妨げとなっていたが、機器の導入により、必要時以外に訪室することがなくなり睡眠の質の向上につながっている。排泄について、起きられるタイミングを早期に気づけスムーズに誘導できている。また、起床の声かけのタイミングがわかり覚醒が良い状態で離床できている。 ②転倒リスクのある利用者について、アラームの作動により、立ち上がり前に察知することができ、転倒や転落のリスクは軽減している。 ③体調悪化時は呼吸数や脈拍数が把握でき、観察に役立っている。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。			
・離床センサーとして使用する場合は、PC画面と離床とのタイムラグが生じるので間に合わない可能性があることを知って対応する必要がある。特に、転倒リスクが高い利用者には要注意である。 ・使用時の個人設定やデータ分析には知識が必要であり、PC操作が苦手な職員への研修や管理マニュアルを作成するなど周知のための対策が必要である。 ・重度の認知症で、電源コードを引き抜いたりマットレスを激しくいじったりする利用者には使用できない。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	社会福祉法人まんてん		
介護事業所名	まごころホームまんてん高月		
介護保険事業所番号	2590300303	サービス種別	小規模多機能居宅介護
所在地	滋賀県長浜市高月町高月641-2		
利用定員	9人	介護ロボットの種別	見守り
介護ロボットの製品名	眠りスキャン		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	○有・無		
導入時期	令和3年3月	導入台(セット)数	9台
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。			
・宿泊室のベッドマットレスの下に敷いて、以下の目的で使用した。 ①夜間の睡眠状態や排泄ケアのタイミングを知り、良質な睡眠が得られるようにすることで日中の活動性を高め、生活のリズムを整える。また、自宅に戻られた後も落ち着いて休んでいただける環境を整える。 ②転倒や転落リスクの高い利用者にはアラームを設定し、安全の確保に努める。 ③看取り期のバイタルサインの把握、異常の早期発見と適切な対応に努める。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。			
宿泊室全室に設置した。 ①について、睡眠状況について家族と情報交換を行い、日中の活動することの必要性について共有することができた。 ②寝たきりであるが、転落のリスクのある利用者に対して、睡眠状況の確認や離床アラーム設定により、転落リスクの軽減に繋がっている。 夜間の排泄について付き添いが必要利用者について、離床アラームにより確実に付き添いが行えている。 ③看取りの対象者はおられないが、呼吸や心拍数が把握できることで、異常の早期発見に繋がるものと考えている。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。			
・離床センサーとして使用する場合は、PC画面と離床とのタイムラグが生じるので間に合わない可能性があることを知って対応する必要がある。特に、転倒リスクが高い利用者には要注意である。 ・使用時の個人設定やデータ分析には知識が必要であり、PC操作が苦手な職員への研修や管理マニュアルを作成するなど周知のための対策が必要である。 ・重度の認知症で、電源コードを引き抜いたりマットレスを激しくいじったりする利用者には使用できない。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	社会福祉法人 八起会		
介護事業所名	特別養護老人ホームあぼし		
介護保険事業所番号	2572300149	サービス種別	特別養護老人ホーム
所在地	滋賀県湖南市丸山4丁目5番1号		
利用定員	59人	介護ロボットの種別	見守り
介護ロボットの製品名	眠りスキャン		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	○有・無		
導入時期	令和3年3月	導入台(セット)数	4台
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。 ・終末期を迎え、看取りを行っている方に使用している。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。 ・呼吸状態をモニターできるため、職員の精神的な負担と巡回数を軽減できた。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。 ・エアマット等を使用していると、エアポンプ等の振動を感知して誤作動が起こることがある。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	社会福祉法人 八起会		
介護事業所名	地域密着型特別養護老人ホーム みやのもり		
介護保険事業所番号	2592300095	サービス種別	地域密着型介護老人福祉施設
所在地	湖南市宮の森一丁目2番1号		
利用定員	29人	介護ロボットの種別	見守り
介護ロボットの製品名	眠りスキャン		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	有・無		
導入時期	令和3年3月	導入台(セット)数	4台
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。			
・見守りの必要な方に眠りスキャンを使用し、特に夜間は介護職員の巡回とモニターでの確認。 ・心拍数が確認できるため、看取り期の方に使用し異常数値の早期発見のため使用。 ・利用者の睡眠状況を把握し、夜間の介入時間や日中の活動の提供を検討。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。			
・看取り期の方への対応として、異常数値の場合にアラームで確認できるため、精神的負担の軽減につながっている。 ・離床時にアラートで知られてくれるため、事故防止に繋がっている。 ・入眠状況がモニターで把握できるため、巡回の負担軽減繋がっている。また、夜間覚醒時に介入ができるため、利用者様の負担も軽減できている。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。			
・設置モニターの中からアラーム音のみのため、少し離れた位置の居室で介護をする場合に聞こえにくい。 上記、対応としてipadにアプリをダウンロードし、持ち運びができるようにした。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	社会福祉法人 青祥会		
介護事業所名	介護老人保健施設 長浜メディケアセンター		
介護保険事業所番号	2550380014	サービス種別	介護老人保健施設
所在地	滋賀県長浜市加田町2984-1		
利用定員	104人	介護ロボットの種別	見守り支援
介護ロボットの製品名	眠りSCAN		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	○有・無		
導入時期	3年 3月	導入台(セット)数	2
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。			
・夜間頻尿による不眠、夜間徘徊など睡眠状況に問題がある利用者に対し、一定期間使用し夜間の睡眠、覚醒、離床の情報の収集しました。			
・収集したデータから睡眠や覚醒状況、おむつ交換時間などを評価・分析し、使用者それぞれの夜間の睡眠パターンを把握し在宅復帰に向けたアドバイスにつなげました。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。			
・サービスステーション内のパソコン画面で覚醒を確認し、オムツ交換ができるので使用者の安眠が確保できるとともに夜勤者の巡回の回数が減り、職員の業務負担が軽減されました。また、転倒リスクの高い使用者の見守りがしやすくなり職員の精神的負担も軽減されました。			
・夜間の覚醒が多い利用者には、昼間のレクリエーションの参加を積極的に進めるなど活動量を増やすことで夜間の安眠につながりました。			
・家族への説明が、収集した多くのデータに基づき行えるので、いつも理解や納得を得られるようになりました。			
・眠りSCANの効果や成果を「眠りSCAN導入によりみえたこと～睡眠と排泄の関係～」の演目で滋賀県社会福祉学会で発表し奨励賞を受賞しました。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。			
・離床時のセンサーは、ベッドの振動が収まってしてから反応するため、離床時とパソコン画面で多少タイムラグが起るので、転倒リスクの高い利用者には検討してから使用するようになっています。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	社会福祉法人 青祥会		
介護事業所名	坂田メディケアセンター		
介護保険事業所番号	2552480010	サービス種別	介護老人保健施設
所在地	滋賀県米原市野一色1136		
利用定員	130	介護ロボットの種別	見守り支援
介護ロボットの製品名	眠りスキャン		
導入する介護ロボットが見守り機器の場合の通信環境整備の有無	○ 有 ・ 無		
導入時期	令和 3年 3月	導入台(セット)数	3台
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。			
購入した【眠りスキャン】3台を各フロアに1台ずつ配備した。 使用状況としては①夜間に中途覚醒のある利用者に睡眠の様子を観察すること。 ②夜間のみ失禁のある利用者を使用し定時トイレ誘導のタイミングを見つけることを目的に対象利用者および家族の了承を得て使用している。 睡眠、覚醒、胎動による行動把握ができ、スタッフ人数が少ない夜間時間帯の業務優先順位をつけることができている。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。			
まず、夜間の睡眠状態がより詳しくわかるようになり、他職種同志での情報共有でより踏み込んだ介護、サービス提供等を実施できるようになった。特に夜間の睡眠状態、呼吸状態が詳しくわかることで、体調変化を早期発見できることだけでなく、日中の過ごし方の検討を行い、実践できている。次に、睡眠、覚醒状態を把握することで、スタッフは居室への訪室回数が大幅に削減され、フロア全体の効率的にケアを提供することができるようになるとともに身体的、精神的にも介護負担の軽減につながっている。特に夜勤者の負担が、導入前に比べて削減され、業務効率化に大きく寄与している。さらに、夜勤時間帯の業務効率により夜勤勤務の多忙さを理由に退職する職員がなくなり、離職率の低下にも大きく寄与している。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。			
現状、業務の削減、効率化に大きく寄与しているが、使用に慣れていないこともあり正確なデータを取得するために時間を要している。今後の課題として、多くの正確なデータを得ることができ一方で、蓄積されたデータをどのようにケアに有効活用していくのかを、多くの職種を交えて意見を出し合い検討していくことが必要であると考えている。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	社会福祉法人青祥会		
介護事業所名	特別養護老人ホーム青浄苑		
介護保険事業所番号	2570300067	サービス種別	介護老人福祉施設
所在地	滋賀県長浜市加田町2995		
利用定員	117人	介護ロボットの種別	見守り支援
介護ロボットの製品名	眠りスキャン		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	有・無		
導入時期	令和3年3月	導入台(セット)数	4台
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。 ・青浄苑で4台眠りスキャンを購入しました。眠りスキャンは、利用者の夜間における睡眠、覚醒、離床の行動パターンを把握することができ、職員の夜間業務負担とオムツ使用量の軽減に努めています。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。 ・利用者の呼吸状況・入眠状況などのデータにより、注意すべきタイミングでアラートがなることから個々の状況に応じたタイミングで訪室することができます。職員の業務意識の向上と、命と向き合う精神的不安の軽減に繋がっています。 ・利用者の夜間の睡眠、覚醒、離床の行動パターンを把握して、効率的に定期的にオムツ交換や睡眠時間の確認を行っています。 ・効率的なオムツ交換の作業等により、確実な休憩時間の確保、また、職員の残業時間の削減に繋がっています。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。 ・青浄苑では、見守り支援機器が少ないと考えております。 ・青浄苑では、現在4台の眠りスキャンを使用しており、今後更に眠りスキャン4台と離床センサー付きベッド4台を購入し、見守り支援機器の充実を図りたいと考えます。令和3年中に購入を検討しています。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。令和3年度に購入を検討しています。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	社会福祉法人 青祥会		
介護事業所名	特別養護老人ホーム 坂田青成苑		
介護保険事業所番号	2572400014	サービス種別	介護老人福祉施設
所在地	滋賀県米原市野一色1136		
利用定員	100人	介護ロボットの種別	見守り
介護ロボットの製品名	眠りSCAN (仕様:NN-1520 ※パラマウントベッド製)		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	○有・無		
導入時期	令和3年3月	導入台(セット)数	6
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。			
令和3年3月19日に施設へ業者から納品。 令和3年4月6日から、施設側で入所者6名を選別し業者立会で機器設定を行い運用に入る。 令和3年4月16日に、4月6日運用から選別した利用者のベッド上での状況をモニターした実際にデータを用いて、業者(パラマウントベッド 技術者)から、データの見方・活用方法について説明を受けた。また、この時にパソコンの設定(利用者変更方法)等についても改めて説明を受けた。 現在、夜間帯入眠状況の確認が必要な方6名に当該『眠りSCAN』を設置し日々の状況を確認している。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。			
『眠りSCAN』を運用を始めてから日が浅く、導入効果等の細かな検証までは行えていない。 ただし、運用1ヶ月未達ではあるが、選抜した利用者については入眠状況が確認でき、実際には夜間あまり寝ていないと思っていた方が、夜間帯寝ておられる事が判明した事例や、入眠と覚醒に一定のパターンが見受けられた方もあり、データによる客観的な入眠状況の把握が行えるようになった。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。			
現状6名にしか設置出来ず、機器を有効に使用する為に対象となる利用者の選別や、優先的に設置する方の洗い出しに苦慮している。特に、一旦機器を使用した方に対して、どの時点で機器を外すのかの基準づくりの必要性を感じている。 なお、『眠りSCAN』はベッド上での振動をキャッチするセンサーの為、利用者の離床等の動作を速やかに把握する事には不向きである。(タイムラグが生じる。)よって、ベッドからの転落・転倒リスクがある利用者については、『眠りSCAN』だけの設置は難しいと思われる。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	社会福祉法人 青祥会		
介護事業所名	特別養護老人ホーム 青芳		
介護保険事業所番号	2570300372	サービス種別	特別養護老人ホーム
所在地	長浜市川道町2572		
利用定員	54人 (短期16人)	介護ロボットの種別	見守り
介護ロボットの製品名	眠りスキャン		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	○・無		
導入時期	令和3年3月	導入台(セット)数	2台
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。			
・夜間徘徊や頻尿による不眠等睡眠状態が不安定な利用者に使用。一定期間夜間の覚醒状況や離床の情報を活用しケアを実施した。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。			
・導入台数が2台のため、転倒リスクが高いと思われる夜間不眠気味の利用者を中心に使用。パソコン等で覚醒が確認できるので、タイミング良くオムツ交換等の対応ができ、対象者の安眠につなげた。 ・収集されたデータの分析については、まだ一定の成果にまでたどりついていない状況があり、経験年数の少ない職員にも統一したケアが浸透できるように分析データの共通認識を高めていきたい。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。			
・臥床の位置によってはデータが収集できない場合がある。 ・タブレット端末とパソコンで見守りを行っているが、常時携帯するためにはスマホタイプの方が便利と思われる。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	社会福祉法人 青祥会		
介護事業所名	特別養護老人ホームやまびこ		
介護保険事業所番号	2571700083	サービス種別	介護福祉施設
所在地	滋賀県愛知郡愛荘町安孫子1235		
利用定員	70人	介護ロボットの種別	見守り
介護ロボットの製品名	見守り支援システム「ねむりスキャン」		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	有		
導入時期	令和3年 3月	導入台(セット)数	1台
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。			
<ul style="list-style-type: none">入所のご利用者1名に対し導入した見守り機器を設置している。現時点では、看取りのご利用者の状態把握を目的とした使用となっている。看取り機器と専用受信器を連動させ、状態の変化時にすぐに対応する体制をとっている。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。			
<ul style="list-style-type: none">導入後3か月であり、また使用目的も看取りのご利用者のみのため具体的な数値はとれていない。効果としては、定期的に状態観察のために訪室を行っていたが、見守り機器と連動する専用受信機により容体の変化を把握することができるため、訪室の回数を減らすことが出来ている。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。			
<ul style="list-style-type: none">今回の見守り機器の導入では3年後を目途に夜勤職員の削減を最終目的としている。目的の達成にはさらに台数を増やすことや、どのフロアで使用するか等の協議が必要で、導入そのものが目的の達成に繋がるものではない。今後、使用する現場の職員等と協議を重ね、見守り機器の有効活用を探って行きたいと思っている。			

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	社会福祉法人志賀福祉会		
介護事業所名	特別養護老人ホーム近江舞子しょうぶ苑		
介護保険事業所番号	2570101721	サービス種別	特養(従来型)
所在地	滋賀県大津市南小松90番地		
利用定員	50人	介護ロボットの種別	見守り支援
介護ロボットの製品名	眠りSCAN NN-1520		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	有		
導入時期	2021年 3月	導入台(セット)数	50
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。			
眠りSCANを使用することにより、センサーで得られた入居者様の状態を、パソコンや携帯端末でリアルタイムに入眠状態、呼吸、心拍数、離床等を確認することができる。 また、機器ごとに個別にお知らせの設定をすることが可能となっており、ご利用者に合わせた複合的な情報を各端末に的確に発信することが可能で、状態変化など、ご自身でも気付かれない体調の変化を機器を通して介護職員に伝えることができる。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。			
早朝や夜間、各ご利用者の睡眠や覚醒状態を確認することで、介護職員は効率的に必要なケアを提供することができる。また、コロナ禍において、呼吸、心拍数をより意識するようになっているので、ご利用者の体調変化にいち早く気付けるようになった。機器導入前までは、ご利用者一人ひとりの睡眠状態を気にかけ、離床された際には倒れておられないか心配をしていたため、夜勤業務において、気の休まる時がほぼなかった。しかし、機器導入後はご利用者の見守り役を行なっているため、夜勤は通常2名の職員で行っているが、介護職員が1名増えたような感覚で、事故の確率が軽減され、精神的にも落ち着いて業務に取り込むことが出来るようになった。 求人案内でも、全施設のベッドに眠りSCANを導入していることは、介護経験のある求職者に良い印象を与えている。			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。			
眠りSCANの機器を使用することに慣れてしまうと、機器が設置されていない施設で働くことが怖くなり困難になる。これは、ある意味で当法人施設から他施設への離職防止につながるプラス面ではあるが、一方、当施設でも機器の故障や停電等で、眠りSCANが使用できなくなった場合、元の介護方式で対応しなければならない。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	社会医療法人 誠光会		
介護事業所名	介護老人保健施設 草津ケアセンター		
介護保険事業所番号	2550680017	サービス種別	施設サービス
所在地	滋賀県草津市野村2丁目13-13		
利用定員	100人	介護ロボットの種別	見守り
介護ロボットの製品名	超音波センサー・起き上がりセンサー(CAREaiNC連動シリーズ)		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>		
導入時期	令和2年 3月	導入台(セット)数	各1セット
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。			
起き上がりセンサー2名に使用。超音波センサー1名に使用。			
【設置の目安】			
・自身で居室に戻ることをされない ・ナースコールの使用が曖昧である ・ベッドから1人で起き上がろうとされるが見守りや何らかの介助が必要である ・動作が緩慢である など上記の条件に該当する方に設置しています。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。			
【導入効果】			
①起き上がりセンサー 起き上がられた時に作動するため、サイドレールセンサーのように少しのことで作動しない。 訪室をして見守りする頻度が減り、職員の心身負担の軽減になった。			
②超音波センサー 端坐位になった時に作動するため他のセンサーと違い必要な時に対応することができる。 また感度が良く一時停止や自動復帰機能があり、センサーの入れ忘れがない。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。			
【課題と対応策】			
・センサーの使用状況を確認しながら対象者を選定、評価することが必要。			
【介護ロボットの不都合な点】			
・基本的にコードが多く、コードの長さに合わせて設置する場所やベッド環境を整える必要がある。			

※「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	社会福祉法人 達真会		
介護事業所名	特別養護老人ホーム けやきの杜		
介護保険事業所番号	2570300901	サービス種別	特別養護老人ホーム
所在地	滋賀県長浜市高月町柏原1055番地		
利用定員	60人	介護ロボットの種別	見守り
介護ロボットの製品名	眠りSCAN		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	有・無		
導入時期	2021年3月	導入台(セット)数	60
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。			
眠りSCANを全居室に設置し、事務所で全利用者の離床、臥床、睡眠状況(心拍、呼吸数)が把握できる。各ユニットでは、ユニット利用者のみが把握できるようモニターの設置とスマートフォンを設置している。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。			
眠りSCANを設置して、1ヶ月程しか経過していないが、「ベッド上での状況がリビングでわかるため、リビングで他の利用者の対応をしていたときも安心できる。」「離床センサーと併用している利用者に関して、離床センサーがなる前に、ベッド上での覚醒が把握でき、訪室できた。」「夜間、寝ているかどうかは訪室して確認するしかなかったが、訪室しなくても状況がわかるのはありがたい。」といった精神的・身体的不安軽減の効果があると感じている職員は約7割と高く、約3割は、「まだ慣れていないのでわからない。」「どこまで信頼できるのか疑問がある。」という意見もあった。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。			
見守り機能ではあるが、離床時のタイムラグがあり離床センサーとして考える場合は、利用者個々にあった設定と眠りSCANの特性を職員個々が理解しておかなければならない。 眠りSCANとケアプランを連動させ、夜間適切なタイミングでケアに入れるように活用することが目標となるが、訪室しなくても利用者の状態がわかるため、必要なケアを怠ったり、訪室することで気づけたことが気が付けなかったということがないよう眠りSCANに対する理解を深める必要性を感じた。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	社会福祉法人 達真会		
介護事業所名	特別養護老人ホーム けやきの杜		
介護保険事業所番号	2570300901	サービス種別	短期入所生活介護
所在地	滋賀県長浜市高月町柏原1055番地		
利用定員	20人	介護ロボットの種別	見守り
介護ロボットの製品名	眠りSCAN		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無		
導入時期	2021年3月	導入台(セット)数	20
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。			
眠りSCANを全居室に設置し、事務所で全利用者の離床、臥床、睡眠状況(心拍、呼吸数)が把握できる。各ユニットでは、ユニット利用者のみが把握できるようモニターの設置とスマートフォンを設置している。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。			
眠りSCANを設置して、1ヶ月程しか経過していないが、「ベッド上での状況がリビングでわかるため、リビングで他の利用者の対応をしていたときも安心できる。」「日々、利用者が入れ替わる中で、利用者の情報把握が難しく、夜間は不安が大きかったが、少なくとも体調異変にはすぐ気が付けるということはある。」「転倒のリスクが高い方は以前からセンサーで把握していたが、その他の利用者の夜間の様子が知れて安心する。」といった精神的・身体的不安軽減の効果があると感じているという意見がほぼ全職員から聞けたが、「まだ慣れていないのでわからない。」「正常に反応しなかったらどうしよう。」という意見もあった。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。			
見守り機能ではあるが、離床時のタイムラグがあり離床センサーとして考える場合は、利用者個々にあった設定と眠りSCANの特性を職員個々が理解しておかなければならない。 眠りSCANとケアプランを連動させ、夜間適切なタイミングでケアに入れるように活用することが目標となるが、訪室しなくても利用者の状態がわかるため、必要なケアを怠ったり、訪室することで気づけたことが気が付かなかったということがないよう眠りSCANに対する理解を深める必要性を感じた。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	社会福祉法人 八起会		
介護事業所名	介護老人保健施設 石部ケアセンター		
介護保険事業所番号	2552380012	サービス種別	介護老人保健施設
所在地	滋賀県湖南市丸山4丁目5番1号		
利用定員	76人	介護ロボットの種別	見守り
介護ロボットの製品名	眠りスキャン		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	○有・無		
導入時期	令和3年3月	導入台(セット)数	4台
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。			
・ベッドからの転落リスクが高い、睡眠状態や生活リズム把握、排泄誘導の必要な4名の認知症の方に、眠りスキャンを使用する。特に夜間は介護職員の巡回とモニターでの確認をおこなう。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。			
・覚醒から体動までの時間の把握ができ、転倒リスクの予測に繋がっている。 ・夜間の排泄誘導や排泄介助のタイミングを把握するためのデータ集約ができています。 ・以前使用していた見守り機器と違い、体動把握が早くできるメリットがあり巡回の効率化、優先順位が付けやすく労務負担の軽減を図るための一歩となっている。 ・通信環境においては、無線環境の整備によりフロア全域での送信が可能となった。 ・感知器はベッドマットレスの下に敷き利用しており、使用方法や他対象者への付け替えもし易い。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。			
・設置モニターからアのルーム音のみのため、少し離れた位置の居室で介護をする場合に聞こえにくい。 上記の課題対応としては、スマートフォンやタブレットの使用を検討することで受信環境の再構築が必要と考えている。 ・導入期間が短い為、蓄積データの有効活用ができていない、システム管理方法の統一と、科学的根拠に基づいた支援計画への移行を進める。 ・当面はセンサーの信頼性を追求すると共に、不都合案件の集約を進める。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	社会福祉法人 八起会		
介護事業所名	介護老人福祉施設もみじ		
介護保険事業所番号	2570500237	サービス種別	特別養護老人ホーム
所在地	東近江市永源寺高野町431-2		
利用定員	50人	介護ロボットの種別	見守り
介護ロボットの製品名	眠りスキャン		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	有・無		
導入時期	令和 3年3月	導入台(セット)数	4台
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。			
・見守りの必要な方に眠りスキャンを使用し、特に夜間は介護職員の巡回とモニターでの確認。 ・心拍数が確認できるため、看取り期の方に使用し異常数値の早期発見のため使用。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。			
・看取り期の方への対応として、異常数値の場合にアラームで確認できるため、精神的負担の軽減につながっている。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。			
・設置モニターの中からアラーム音のみのため、少し離れた位置の居室で介護をする場合に聞こえにくい。 上記、対応としてipadにアプリをダウンロードし、持ち運びができるようにした。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	社会福祉法人 八起会		
介護事業所名	グループホームみなくち		
介護保険事業所番号	2591400086	サービス種別	認知症対応型共同生活介護
所在地	甲賀市水口町朝日が丘6-37		
利用定員	18人	介護ロボットの種別	見守り
介護ロボットの製品名	眠りスキャン		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	有・無		
導入時期	令和 3年3月	導入台(セット)数	4台
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】 ※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。			
・見守りの必要な方に眠りスキャンを使用し、夜間は家族の同意の上モニターでの確認とし、安眠をしている。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】 ※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。			
・夜間巡回時の出入りによる物音がないため、利用者が良く眠れている。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】 ※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。			
・特になし			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	社会福祉法人 一善会		
介護事業所名	介護老人福祉施設 安土やすらぎの郷		
介護保険事業所番号	2570400479	サービス種別	介護福祉施設サービス
所在地	滋賀県近江八幡市安土町下豊浦4141		
利用定員	50人	介護ロボットの種別	見守り
介護ロボットの製品名	パラマウント 眠りSCAN NN-1520		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	○有・無		
導入時期	令和3年3月	導入台(セット)数	3台
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。			
令和3年3月29日に予定通り3台導入し、現在すべて設置活用中である。活用については、ご利用者を各ユニットの中で選定し、データ入力のうち24hの居室内での状態を画面表示・記録している状況。記録データについては、設置後1カ月足らずであり、各ご利用者の状態・行動のデータベースが乏しく、的確に状態・行動を把握し予測するまでには至っていないのが現状である。また、職員の基本操作・データの把握・状況分析についても、全員が現場において習得していく事を基本に今後進めていく予定である。くわえて、データの精度の確認を行なっているところでもあり、今まで通り訪室を行い、機能及びデータと実態との整合性を検証している状況にある。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。			
導入後の状況については、ご利用者の24hの状態が画面上で常に確認できるようになり、ベッド上での状態を把握し、居室内での転倒・転落のリスクの軽減にも繋がれると実感、導入効果は認められると判断している。しかしながら上記(1)の通り、導入後1カ月足らずであり、状態やそのデータと実態との整合性を検証中である事から、データを基に職員の負担軽減並びに事故防止に繋げ、課題解決に向けて具体的に進めていくにはこれからといった段階である。よって、現時点における目標達成の評価は難しい状況にある。導入効果と目標達成については、関係職員の機器の操作・分析・予測等の早期習得を目指し、業務(訪室回数)の改善と居室内の事故防止(転倒・転落)に繋がるよう、数値目標ゼロを掲げ進めていく体制である。尚、通信環境については、従来施設内においては、エリアによって不安定な環境であったが、整備後は施設全体が通信環境が安定し、機器の動作等において問題ない状態である事から整備効果は十分に認められる。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。			
現状としては、導入からの期間が短い事から、職員の機器に対する知識の習得がこれからといった段階であり、早急に現場において全職員が習得し、職員の身体的・精神的負担の軽減に繋げていく必要がある。そして、業務時間の短縮や活用の様子の外部発信についても、今後進めて行かなくてはならない課題である。また、機器の誤作動も発生しており、その解消に向け関係業者と連携を密にし、早期に導入後の体制の構築を図れるよう進めていく方針である。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	社会福祉法人近江ちろば会		
介護事業所名	グループホームぼだいじ		
介護保険事業所番号	2572300024	サービス種別	認知症対応型共同生活介護
所在地	滋賀県湖南市菩提寺327-16		
利用定員	18人	介護ロボットの種別	見守り 介護支援業務
介護ロボットの製品名	PARAMOUNT BED 眠りSCAN		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	有 無		
導入時期	令和3年 3月	導入台(セット)数	18
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】 ※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。 ・グループホーム入居者18名全員に眠りスキャンを導入致しました。また、それに伴って、館内のWi-Fi環境を整備致しました。これにより、常時、パソコンモニターとタブレット端末で日中・夜間の入居様の見守り、活動状況の把握ができるようになりました。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】 ※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。 ・特に効果を感じるところとしましては夜間帯の見守りに対してのケア負担が減りました。夜間1ユニット9名に対して、夜勤者1名が20時～翌7時半までの11時間半1人対応をしています。その間の安否確認や見守り確認について、これまで1時間おきの巡視確認を行なっていました。眠りSCANを導入したことにより、特別な事情がある方を除いて、モニターを確認し起床された時や覚醒されている時間が続くタイミングで訪室するようになり巡視回数が半減され職員負担が心身ともに負担が減っています。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】 ※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。 ・現時点では導入から間もないことからセンサーを通じた見守り支援の部分に重きをおいていますが、今後は眠りSCANから得られる各種データをもとに夜間睡眠と日中の活動との関連を評価し、生活の質の向上につなげていきたいと思います。 ・不都合ではないですが、眠りSCANは体動センサーであり人感センサーではないため、入居者の実際の行動とモニターとの表示に若干のタイムラグが発生します。このセンサーの特徴をすべての職員が理解しておく必要があります。眠りSCANの設定でタイムラグの問題はおおむね解決できますが、状況によっては人感センサーを上手に併用していくことも考えています。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	社会福祉法人 近江ちいば会		
介護事業所名	グループホームみなくち みんなの家		
介護保険事業所番号	2591400045	サービス種別	認知症対応型共同生活介護
所在地	滋賀県甲賀市水口町本丸2-54		
利用定員	18人	介護ロボットの種別	見守り 介護業務支援
介護ロボットの製品名	PARAMOUNT BED 眠りSCAN		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	①・無		
導入時期	令和3年 3月	導入台(セット)数	6
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】 ※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。 wifi工事後、眠りスキャンを6台導入。各ユニット3台ずつ使用。主に夜間、居室の灯をつけずに休まれている安否確認の難しい入居者に使用している。また、睡眠状態を把握する為に、使用している場合もある。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】 ※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。 夜間、明かりをつけずに休まれている入居者の安否確認時は、明かりを照らしたり、物音で起こしてしまうことがあった。眠りスキャンを導入することで、訪室することなく、確認できている。入居者は不必要に職員に起こされる事なく休まれるようになった。また、以前は、安否確認時に入居者を起こしてしまっは申し訳ないと感じていたが、導入することで、職員の精神面での負担軽減につながっている。その他には、入居者が本当によく休まれているか等の睡眠状況の把握が少しずつできている。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】 ※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。 眠りスキャンでの起床時や離床時のアラームでは、10秒~30秒のタイムラグがある為、眠りスキャンのみで転倒等の事故を防ぐことは難しい。その為、以前から使用している赤外線センサーを併用して使用している。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	医療法人 弘英会		
介護事業所名	介護老人保健施設B・O・Hケア・サービスセンター		
介護保険事業所番号	2550180026	サービス種別	介護老人保健施設
所在地	滋賀県大津市伊香立途中町704番地		
利用定員	100人	介護ロボットの種別	見守り
介護ロボットの製品名	①ハカルプラス Care愛 ふむふむセンサー ②パラマウントベッド 眠りスキャン		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	○有・無		
導入時期	令和3年3月	導入台(セット)数	①6台 ②12台
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】 ※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。 ①ハカルプラス Care愛 ふむふむセンサー ベッドからの立ち上がり時等、転倒リスクの高い入所者のベッドサイドに設置し使用している。 ②パラマウントベッド 眠りスキャン ご自身での離床動作が不安定で、離床動作による転落事故等の発生リスクが高い入所者のベッドに設置し使用している。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】 ※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。 ①ハカルプラス Care愛 ふむふむセンサー ナースコール(PHS)との連動が可能のため、入所者の立ち上がり動作を遠隔で確認することができ、転倒事故の発生予防及び職員の精神的負担軽減に大きな効果をもたらしている。導入前と比較し、転倒事故の発生が20%程度減少した。 ②パラマウントベッド 眠りスキャン 詰所のパソコン等で、入所者のベッド上の体動、起居動作等が確認できるため、ベッド上からの転落事故の発生予防及び職員の精神的負担軽減に大きな効果をもたらしている。転落事故の発生が50%程度減少した。 ※通信環境の整備効果 Wi-Fi環境を整備できたことで、タブレット等各種Wi-Fi機器の活用が可能となり、業務の効率化が図れた。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】 ※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。 パラマウントベッドの眠りスキャンはベッドからの転落事故等の予防に大きな効果を発揮しているが、それ以外にも入所者の睡眠や呼吸状態の把握等、全身状態の管理においても有効な設備である。今後は職員の理解を深めて、更に活用できるよう取り組んでいきたい。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	社会福祉法人オアシス倶楽部		
介護事業所名	オアシスグループホーム		
介護保険事業所番号	2590400012	サービス種別	認知症対応型共同生活介護
所在地	近江八幡市馬淵町690		
利用定員	18人	介護ロボットの種別	見守り支援機器
介護ロボットの製品名	安心ひつじα		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	有		
導入時期	令和3年3月	導入台(セット)数	10
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。			
10セット全て稼働している。ユニットごとにパソコンで監視できている。 iPhone携帯使用者は、それにも入っている。 複数の要介護者を同時に見守りできる。 緊急度が判断できる。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。			
眠りの質がわかるので訪室しても、近づく必要がなく、利用者を起こさないのが良い。ケアにかかる時間は軽減した。 転倒するまでにパソコンで把握でき、安心。 不眠の訴えがある方はグラフの確認で薬の調整が必要か主治医と相談し検討している。 心疾患の現病が有る方には日中の静養時でも見守り管理でき安心です。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。			
離床とアラームの間に数秒のずれがあるが支障なし。 機器を活用し夜間の安全と、業務軽減をして、質の高いケアを効果的・効率的に提供し、人材確保や離職防止に繋げる。 施設内で見守り支援機器の活用リーダーを育成し、活用方法の共有を行う。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	社会福祉法人 六心会		
介護事業所名	介護老人保健施設 ここの郷		
介護保険事業所番号	2550580019	サービス種別	介護老人保健施設
所在地	滋賀県東近江市五個荘山本町466番地		
利用定員	75人	介護ロボットの種別	見守り
介護ロボットの製品名	超音波・赤外線コール		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無		
導入時期	R3年 3月	導入台(セット)数	4台
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】			
※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。			
〔対象〕			
・新規利用者、居室内での移動動作の確認を行う必要がある方			
・R3年3月～4月末に2名に使用			
〔方法〕			
①居室出入り時に感知するように出入り口の設置			
②起き上がり時の感知するように、ベッド足元に設置。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】			
※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。			
・導入前はケーブル・マットタイプの報知装置を使用しており、設置箇所の制限、コード類による利用者の動線を阻害する課題があったが、2点とも軽減された。			
・重さを感知するマットタイプに比べ感知速度が早く、利用者の動作確認ができることで、転倒リスクの軽減、見守りや付き添いの負担軽減、転倒リスクを懸念する精神的負担の軽減に繋がった。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】			
※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。			
・コードレス超音波/赤外線センサーと無線中継ボックスの2つに電源コンセントが必要になり、電源タップの追加が必要になる。			
・赤外線は目に見えず検知距離の設定が難しいため、検知範囲を示す図を作成して使用している。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。

(様式)

令和2年度 滋賀県介護職員職場環境改善支援
(介護ロボット導入支援)事業費補助金 導入効果報告書

法人(事業者)名	株式会社すずらの郷		
介護事業所名	(介護予防)小規模多機能事業所デイサロンすずらん		
介護保険事業所番号	2590600306	サービス種別	(介護予防)小規模多機能型居宅介護
所在地	滋賀県草津市大路3丁目3-13		
利用定員	24人	介護ロボットの種別	見守り機器
介護ロボットの製品名	Care愛ふむふむセンサー		
見守り機器の導入に伴う通信環境整備の有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無		
導入時期	令和3年 3月	導入台(セット)数	3
リース・レンタルの場合の契約期間	年 月から令和 年 月まで		
【1. 介護ロボットの使用状況】 ※見守り機器の導入に伴う通信環境整備のみの場合は、見守り機器の使用状況を記載すること。 宿泊ご利用者で転倒等のリスクが高い方のベッド横にセンサーマットを設置し、主に夜勤スタッフが使用しています。日中でも、転倒リスクの高い方がベッド休養される際に、ベッド横に設置しております。			
【2. 介護ロボットの導入効果・通信環境の整備効果】 ※目標の達成状況等をもとに、数値を用いてできるだけ具体的に記載すること。 複数名宿泊ご利用者がいる場合、ご利用者対応中に別のご利用者の離床に気が付きいち早く対応することができています。 また、日中でも同様にご利用者の離床にいち早く対応できています。 効果測定期間は短いですが、期間中の職員の離職者は0人でした。 目標としていた6名の宿泊の実績はありませんでしたが、複数名の宿泊利用受け入れ体制が構築できたと考えております。			
【3. 導入後の課題と対応策、介護ロボットの不都合な点など】 ※導入後に生じた課題やそれに対する対応策(方針)や、介護ロボットの不都合な点などを記載すること。 離床回数が多いご利用者にセンサーマットを使用した場合、頻回にセンサーが反応し、使用に慣れていない職員は対応に戸惑ってしまうと聞いております。「介助中」の操作を継続することで、当該事象に対応できますので、慣れていないスタッフは使用する前に練習し、回数を重ねることで適当に使用することができるようになります。			

※ 「介護ロボットの種別」欄は、移乗介護(装着型)、移乗介護(非装着型)、移動支援、排泄支援、見守り、コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援の別を記載すること。

※ 複数種別または複数種類の介護ロボットを導入した場合は、種別・種類ごとに作成すること。